



# 校長室だより No. 1 (令和4年4月23日)

## 令和4年度始めのごあいさつ

令和4年度がスタートし、はや3週間が過ぎました。本年度の管理職を紹介します。本年度の人事異動では、本校副校長と主幹教諭が新しく着任し、教頭が昇任しました。

そして、土佐希望の家分校の教頭が新しく着任しました。

(本校) 校長 平石勝久	副校長 濱口君代 (特別支援教育課から)	教頭 河野美知 (昇任)
事務長 岩本香代	主幹教諭 丸山則昭 (盲学校から)	
(子鹿園分校) 教頭 片岡貴美	主幹教諭 佐藤京子	
(土佐希望の家分校) 教頭 細木秀紀	(高知江の口特別支援学校国立高知病院分校から)	

子どもたちが、楽しく笑顔であられる学校をめざして、一人一人が持てる力を最大限に伸ばすことができるように、適切な指導及び支援に教職員一丸となって取り組んでいきます。

さて、新型コロナウイルス感染状況については、強い感染力を持つオミクロン株やその変異株も報告され、懸念される状況です。学校に感染症を持ち込まない、広げないために、若草3校ともに感染症対策を徹底します。細心の注意を払い、安心・安全に学習できる学校づくりに努めていきます。ただ、コロナ禍においても、若草3校それぞれ工夫した実践を重ねています。「どのようにすればできるか」を常に考え、チャレンジします。

保護者や関係者の皆さまには、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 入学・進級 おめでとう！

### 4月7日(木) 入学式

- 本校 小学部3名、中学部7名、  
高等部6名
- 子鹿園分校 小学部2名、中学部2名  
高等部3名

### 4月8日(金) 入学式

- 土佐希望の家分校 中学部2名  
高等部1名

本年度は、若草3校で計26名が入学しました。若草3校では、新入生を迎えて、活気づいています。

さて、新入生の皆さん、新しい友だちや新しい先生との出会いはいかがでしたか。登下校時、授業、給食など、学校生活で見せる皆さんの表情から、学校生活にも慣れてきた様子が伝わってきます。

また、在校生の皆さんも、落ち着いてやるべきことをしっかり取り組むことができます。

先生方は、みなさんのチャレンジを全力で応援します。きちんと目標を立て、できることを精一杯取り組んでいきましょう。



## 『開校60周年』を迎えます！

今年、高知若草特別支援学校は、開校60周年を迎えます。昭和38年4月に高知市若草町の高知県立子鹿園(現高知県立療育福祉センター)に入所する児童生徒に専門教育を行う学校として開校以来、県内唯一の肢体不自由特別支援学校として発展してまいりました。

ここまで歩んでこられたのも、関係機関の皆さま、保護者や地域の皆さま方の、本校教育に対する温かいご理解とご支援、歴任教職員の皆さまのご尽力によるものと深く感謝しております。

今日、学校を取り巻く環境は日々変化しています。このような環境の変化を敏感に受け止め、児童生徒一人一人に応じた教育の充実と、地域の多様なニーズに応えることのできる専門機関としての役割も一層求められています。開校60周年の節目を機に、さらなる飛躍をめざして取り組んでいきます。

コロナ禍でもあることから、60周年の式典は実施しませんが、PTAとも協力して、子どもたちの記憶に残る行事の実施を考えています。内容は、後日お知らせします。今後とも皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

さて、本校では、「明るく、賢く、たくましく」の校訓のもと、学ぶ楽しさや生きる喜びを感じて充実した学校生活を送るとともに、児童生徒一人一人が持てる力を最大限に伸ばすことができるように、障害の状態や発達段階に応じた適切な指導及び支援に教職員が一丸となって取り組んでいます。このような取組を着実に進めていくためには、学校生活や授業の場で、児童生徒と教職員が共に学び合い、確かな実践を一つ一つ紡いでいくことが大切です。この節目に、様々な場面において、「チャレンジ」と「チームワーク(支え合おう)」をスローガンに取り組んでいきます。児童生徒一人一人のチャレンジを支え、「自分らしさを大切に、よりよく生きる力」を育む教育の一層の充実と地域になくしてはならない学校として、地域支援にも全力で取り組んでいきます。

